

研究課題名	転移性・進行性腎細胞癌に対する薬物療法の効果に関する観察研究
研究の意義・目的	現在、進行性・転移性腎細胞癌に対して複数のお薬が販売されています。それらの治療成績を明らかにすることにより、至適な治療薬の投与の順番などを明らかにすることが、この研究の目的です。
研究を行う期間	2016年5月～2027年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2008年1月～2025年12月に大阪公立大学医学部附属病院の泌尿器科で、進行性・転移性腎細胞癌の治療をされた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。</p> <p>①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、合併症</p> <p>②血液検査結果：血算、白血球分画、一般生化学</p> <p>③腎癌に関する病歴（診断日、手術日、腫瘍組織型、臨床病期、転移巣、リスク分類）</p> <p>④腫瘍縮小効果(治療開始後3-6か月ごとのCT, MRI, 骨シンチ)</p> <p>⑤有害事象(発生日、事象名、重症度)</p> <p>⑥転帰（病気の経過）</p> <p>⑦薬物治療レジメン(薬剤名、用量、治療期間)</p> <p>（有害事象：医薬品の使用と時間的に関連のある、あらゆる好ましくない、意図しない徴候、症状又は疾病のことで、当該医薬品との因果関係の有無は問わないものです。）</p>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器科 研究責任者 加藤 実
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器科</p> <p>(担当者氏名) 加藤 実</p> <p>電話番号：(06) 6645-2121 (代)</p> <p>メールアドレス：kato@omu.ac.jp</p>